

第二回定期勉強会アブストラクト

京都大学文学部第5講義室

2016年2月6日(土)10:00~18:00

タイムテーブル

10:00~12:00 西田幾多郎『善の研究』 意識に始まる世界観

12:00~13:00 休憩

13:00~16:00 現代国際政治体制の構造的理解 政治的トリレンマの中で進むべき道を模索する *1

16:15~17:30 懇親会

西田幾多郎『善の研究』 意識に始まる世界観

我々は、真理を得たい、真の實在とは何かを知りたいと望みます。真理を得たと思えるということは、知識的確信を持つことができたということになりますが、そのためには、一切の仮定を廃し、疑うにも疑いようのない、直接の知識から出せねばなりません。そういう観点から、純粹経験、すなわち、物我の差別のない主客未分の意識現象を根底に据え、實在は如何なるものであるか、理解するとはどういうことを考えていきます。その中で、生命とは何か、精神を持つ者持たない者といった問題にも触れられたらと思います。

『善の研究』は、世界は如何なるものかを考える理論哲学パートと、それに基づいた、人は如何に生きるべきかという実践哲学パートにわかれています。今回の発表では前者である第1編および第2編についてお話します。残りの第3,4編についてはまた後日にお話したいと思っています。

現代国際政治体制の構造的理解 政治的トリレンマの中で進むべき道を模索する

自己の国益と世界的な公共利益という二つの要請の狭間で葛藤する国際政治という舞台において、日本を代表するリアリスト国際政治学者、中西寛は、主権国家体制、国際共同体、世界市民主義という3つの位相構造が並列するトリレンマが存在するとする。非国家アクターの台頭などでより混迷する現代において今回は、安全保障、政治経済、価値意識という3つの視点から国際政治の性質や限界に迫り、次代にふさわしい国際体制を模索する。

*1 途中休憩を挟みます